

今村学園ライセンスアカデミー 学則

今村学園ライセンスアカデミー 学則

第一章 総 則

第 1 条 本校は、今村学園ライセンスアカデミーという。

第 2 条 本校を鹿児島市新屋敷町 2 番 1 0 号に置く。

第 3 条 本校は教育基本法、学校教育法、栄養士法、調理師法、製菓衛生師法及び柔道整復師法に基づき、栄養士、調理師、製菓衛生師及び柔道整復師として必要な知識、技能、教養を授けることを目的とする。

第二章 課程、学科、講座、修業年限、定員、学級数及び休業日

第 4 条 本校の課程、学科、講座、修業年限、学級数及び定員は次のとおりとする。

(本 科)

課 程 名	学科名	修業年限	入学定員	総定員	学級数	備考
衛生専門課程	栄養士科	2 年	3 5 名	7 0 名	1	昼間
衛生専門課程	調理師科 2 年コース	2 年	4 0 名	8 0 名	1	昼間
衛生専門課程	調理師科 1 年コース	1 年	4 0 名	4 0 名	1	昼間
衛生高等課程	調理師科 夜間コース	2 年	4 0 名	8 0 名	1	夜間
衛生専門課程	パティシエ科	1 年	4 0 名	4 0 名	1	昼間
医療専門課程	柔道整復 トレーナー学科	3 年	3 0 名	9 0 名	1	昼間

ただし、附帯教育事業として次の別科を置く。

(別 科)

学 科 名	修業年限	入学定員	総定員	学級数	備 考
パティシエ科	1 年	8 0 名	8 0 名	1	通信課程

(介護食士認定講座)

学 科 名	受講定員	学級数	備 考
介護食士認定講座	8 0 名	1	昼間

第 5 条 本校の学年は、4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 3 1 日に終わる。

通信課程の学年も同様とする。

2 学期は次のとおりとする。

(本 科)

前 期	4 月 1 日から	9 月 3 0 日まで
後 期	1 0 月 1 日から	3 月 3 1 日まで

第 6 条 本校の始業及び終業は次のとおりとする。

	始 業	終 業
衛生専門課程（昼間）	9 時	16 時 50 分
衛生高等課程（夜間）	18 時	21 時 20 分
柔道整復トレーナー学科	13 時	17 時 50 分

第 7 条 本校の休業日は次のとおりとする。

- (1) 日曜日、土曜日
ただし、柔道整復トレーナー学科は日曜日のみ
 - (2) 国民の祝日に関する法律で規定する日
 - (3) 夏期休業 8 月 1 0 日から 9 月 3 0 日まで
 - (4) 冬期休業 1 2 月 2 5 日から 1 月 7 日まで
 - (5) 春期休業 3 月 2 1 日から 3 月 3 1 日まで
- 2 教育上必要があり、かつ、やむを得ない事情があるときは、前項にかかわらず、休業日に授業を行うことがある。

第三章 教育課程、授業時数及び教員組織

第 8 条 本校の授業科目、授業時数又は単位数は、各科別表のとおりとする。

第 9 条 本校に教職員を置く。

- (1) 校長 1 名
 - (2) 副校長 1 名以上
 - (3) 教員（専任教員）
 - 栄養士科 9 名以上
 - 調理師科 6 名以上
 - パティシエ科 1 名以上
 - 柔道整復トレーナー学科 6 名以上
 - (4) 講師
 - 栄養士科 1 5 名以上
 - 調理師科 1 5 名以上
 - パティシエ科 1 0 名以上
 - 柔道整復トレーナー学科 1 5 名以上
 - (5) 実習助手
 - 栄養士科 3 名以上
 - (6) 事務職員
 - 栄養士科・調理師科・パティシエ科 3 名以上
 - 柔道整復トレーナー学科 1 名以上
 - (7) 学校医 1 名以上
- 2 校長は校務を掌り、所属教員を監督する。
- 3 各科の職種において兼務することができる。

第四章 履修方法、試験等の評価及び授業科目修了の認定

第10条 履修方法は各科細則のとおりとする。

第11条 授業科目修了の認定は各科細則のとおりとする。

第12条 既修得履修認定は各科細則のとおりとする。

第五章 入学、休学、在学期間、転学、編入学、退学及び除籍、卒業、資格、賞罰

第13条 本校の入学資格は次のとおりとする。

- (1) 衛生専門課程は、高等学校を卒業した者、又はそれに準ずる学力があると認められた者。
- (2) 衛生高等課程は、中学校を卒業した者、又はそれに準ずる学力があると認められた者。
- (3) 通信課程は、中学校を卒業した者、又はそれに準ずる学力があると認められた者。
- (4) 医療専門課程は、高等学校を卒業した者、又はそれに準ずる学力があると認められた者。

第14条 本校の入学期日は次のとおりとする。

毎 年 4月とする。

通信課程 4月とする。

第15条 本校の入学手続きは次のとおりとする。

本校に入学しようとする者は、本校の定める入学願書に必要事項を記載し、第26条に定める入学検定料を添えて期日までに提出しなければならない。

- 2 前項の手続きを終了した者に対して入学試験を行い、入学者を決定する。
- 3 本校に入学を許可された者は、入学許可の日から指定された期日までに第26条に定める入学金を添えて入学手続きをとらなければならない。
- 4 入学辞退者に対する一旦払い込まれた入学金及び入学検定料についてはいかなる理由によっても返還しない。ただし、3月31日までに入学辞退を申し出た者については、入学検定料・入学金を除く既納の授業料等を返還する。

第16条 休学に関する手続きは次のとおりとする。

学生が疾病その他やむを得ない事由によって長期休学する場合は、その事由を記した書類を提出し、校長の許可を受けなければならない。

- 2 休学は、当該年度末までとする。ただし、特別の事情のある場合は願いにより、1ヶ年に限り延長を認めることができる。
- 3 休学中の期間は、通算して2ヶ年を超えることはできない。
- 4 復学しようとする場合は、申請し、校長の許可を得て復学することができる。

第17条 在学期間は第4条の修業年限の2倍を超えて在学することはできない。

第 18 条 転学、編入学に関する手続きは次のとおりとする。

学生は、他の学校に転学を志望しようとするときは、転学願いを校長に提出し、許可を受けなければならない。

編入学の規定は、各科細則のとおりとする。

第 19 条 退学に関する手続きは次のとおりとする。

退学しようとする者は、その事由を記した書類を提出し、校長の許可を受けなければならない。

第 20 条 次の各号の一に該当する者は、校長が除籍する。

- (1) 第 17 条に規定する在学期間を超えた者
- (2) 授業料の納入を怠り、催促を受けてなお納入しない者

第 21 条 進級及び卒業に関することは次のとおりとする。

進級及び卒業の認定は、各科細則のとおりとする。

第 22 条 栄養士科、調理師科 2 年コース、調理師科 1 年コース、調理師科夜間コース、パティシエ科及び柔道整復トレーナー学科において、所定の課程を修了したと認める者には、それぞれの免許状取得のための証明書を交付する。

第 23 条 栄養士科、調理師科 2 年コース、柔道整復トレーナー学科において、所定の時間、または単位を履修した者には、専門士の称号を与える。

第 24 条 賞罰に関することは次のとおりとする。

次の各号一つに該当する者を褒賞することができる。

- (1) 1 年以上の皆勤及び精勤した者
 - (2) 成績が特に優秀である者
 - (3) 学校の名誉を著しく顕揚し、もしくは他の模範となるべき顕著な行為が見られた者
- 2 次の各号一つに該当する者は、停学又は退学を命ずることができる。
- (1) 素行不良で改悛の見込のない者
 - (2) 学力が劣等で成業の見込のない者
 - (3) 身体虚弱で学業に耐えない者
 - (4) 正当な理由なく出席が常でない者
 - (5) 学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第六章 健康管理及び納付金

第 25 条 健康管理に関することは次のとおりとする。

学校保健安全法に基づき健康診断を実施する。

第 26 条 納入金に関することは次のとおりとする。

	入学検定料	入学金	授業料	実験実習費	施設費	教育充実費
栄養士科	15,000	200,000	540,000	180,000	140,000	50,000
調理師科 2 年コース	15,000	150,000	480,000	120,000	160,000	50,000
調理師科 1 年コース	15,000	150,000	480,000	120,000	160,000	50,000
調理師科 夜間コース	15,000	150,000	240,000	60,000	120,000	50,000
パティシエ科	15,000	150,000	480,000	160,000	160,000	50,000
柔道整復 トレーナー学科	30,000	600,000	700,000	200,000	400,000	
パティシエ科 (通信課程)	15,000		100,000	50,000		

ただし、授業料、実験実習費、施設費、教育充実費は毎年度の年額納付金

(介護食士認定講座)

講 座	受講料	備 考
介護食士認定講座 (一般)	75,000	講義料、実習費、教材費等含む
介護食士認定講座 (学生)	50,000	講義料、実習費、教材費等含む

2 納入金に関する入学辞退の申し出の期限は、年度末の 3 月末日までとし、期限までに入学辞退を申し出た者には、前項の入学検定料・入学金を除く既納の授業料等を返還する。

第七章 その他

第 27 条 次の各条項の規定については、通信課程にも適用するものとする。

第 1 条、第 2 条、第 3 条、第 8 条、第 9 条、第 10 条、第 11 条、第 13 条、
第 14 条、第 15 条、第 16 条、第 17 条、第 18 条、第 19 条、第 20 条、
第 21 条、第 22 条、第 24 条、第 26 条

- 附記 1 この学則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。
- 附記 2 この学則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。
- 附記 3 この学則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。
- 附記 4 この学則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。
- 附記 5 この学則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。
- 附記 6 この学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。
- 附記 7 この学則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附記 8 この学則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

附記 9 この学則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

ただし、これ以前に入学した者については従前のものを適用する。

附記 10 この学則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

各科授業科目、授業時間及び単位数
学則 第 8 条 各科別表

別表1 栄養士科（2年）

教育内容		科目名	規定単位		授業 時間数
			講義 ・ 演習	実験 ・ 実習	
教育分野	人文科学	人文科学	2		30
	社会科学	社会科学	2		30
	自然科学	自然科学	2		30
		情報処理	2		30
	外国語	外国語	2		30
	保健体育	保健体育	2		30
基礎教育分野の合計			12		180
専門分野	社会生活と健康	公衆衛生学	2		30
		環境と健康学	2		30
	人体の構造と機能	解剖生理学Ⅰ	2		30
		解剖生理学Ⅱ	2		30
		解剖生理学実習		1	45
		生化学	2		30
		生化学実験		1	45
		病理学	2		30
	食品と衛生	食品学Ⅰ	2		30
		食品学Ⅱ	2		30
		食品学実習		1	45
		食品衛生学	2		30
		食品衛生学実験		1	45
	栄養と健康	栄養学Ⅰ	2		30
		栄養学実験Ⅰ		1	45
		栄養学実験Ⅱ		1	45
		栄養学Ⅱ	2		30
		栄養学実習		1	45
		臨床栄養学Ⅰ	2		30
		臨床栄養学Ⅱ	2		30
		臨床栄養学実習		1	45
	栄養の指導	栄養指導論	2		30
		栄養指導論実習		1	45
		食文化概論	2		30
		公衆栄養学	2		30

	給食の運営	給食管理Ⅰ	2		30
		給食管理実習Ⅰ		1	45
		給食管理実習Ⅱ		2	90
		給食管理実習Ⅲ		2	90
		調理学	2		30
		調理学実習Ⅰ		2	90
専 門 分 野 の 合 計			36	16	1260
特 設 分 野	栄養教育の方法Ⅰ	2		30	
	栄養教育の方法Ⅱ	2		30	
	給食管理Ⅱ	2		30	
	実務給食管理実習Ⅰ		1	45	
	実務給食管理実習Ⅱ		1	45	
	調理学実習Ⅱ		5	225	
	簿記	2		30	
	卒業論文	2		30	
特 設 分 野 の 合 計			10	7	465
合 計			58	23	1905

別表２ 調理師科２年コース

教育内容	規定時間	教科科目	規定時間	授業時間
食生活と健康	90	公衆衛生学	30	30
		健康管理概論	60	60
食品と栄養の特性	150	栄養学	60	60
		食品学Ⅰ	60	60
		食品学Ⅱ	30	30
食品の安全と衛生	150	食品衛生学Ⅰ	60	60
		食品衛生学Ⅱ	60	60
		食品衛生学実習	30	30
調理理論と食文化概論	180	調理理論Ⅰ	30	30
		調理理論Ⅱ	60	60
		調理理論Ⅲ	30	30
		食文化概論	60	60
調理実習	300	調理実習Ⅰ	300	300
総合調理実習	90	大量調理実習	60	60
		特殊調理実習	15	15
		フードサービス実習	15	15
小計			960	960
選択必修科目		調理実習Ⅱ		300
		総合演習Ⅰ		40
		サービス論Ⅰ		30
		サービス論Ⅱ		30
		サービス論Ⅲ		30
		サービス実習		60
		経営学総論Ⅰ		30
		経営学総論Ⅱ		30
		経営学総論Ⅲ		30
		社会学総論Ⅰ		30
		社会学総論Ⅱ		30
小計				640
その他の科目		調理実習Ⅲ		60
		総合演習Ⅱ		70
		外国語		30
		商業簿記		60
		保健体育		30
		小計		250
		合計	960	1850

別表 3 調理師科 1 年コース

教育内容	規定時間	教科科目	規定時間	授業時間
食生活と健康	90	公 衆 衛 生 学	30	30
		健 康 管 理 概 論	60	60
食品と栄養の 特性	150	栄 養 学	60	60
		食 品 学 I	60	60
		食 品 学 II	30	30
食品の安全と 衛生	150	食 品 衛 生 学 I	60	60
		食 品 衛 生 学 II	60	60
		食品衛生学実習	30	30
調理理論と 食文化概論	180	調 理 理 論 I	30	30
		調 理 理 論 II	60	60
		調 理 理 論 III	30	30
		食 文 化 概 論	60	60
調理実習	300	調 理 実 習	300	300
総合調理 実習	90	大 量 調 理 実 習	60	60
		特 殊 調 理 実 習	15	15
		フードサービス実習	15	15
小 計			960	960
選 択 必 修 科 目		調 理 実 習 II		
		総 合 演 習 I		
		サ ー ビ ス 論		
		サ ー ビ ス 実 習		
		経 営 学 総 論		
		社 会 学 総 論		
小 計				
そ の 他 の 科 目		調 理 実 習 III		
		総 合 演 習 II		
		外 国 語		20
		商 業 簿 記		
		保 健 体 育		30
		小 計		50
		合 計	960	1010

別表 4 調理師科夜間コース

教育内容	規定時間	教科科目	規定時間	授業時間
食生活と健康	90	公 衆 衛 生 学	30	30
		健 康 管 理 概 論	60	60
食品と栄養の 特性	150	栄 養 学	60	60
		食 品 学 I	60	60
		食 品 学 II	30	30
食品の安全と 衛生	150	食 品 衛 生 学 I	60	60
		食 品 衛 生 学 II	60	60
		食品衛生学実習	30	30
調理理論と 食文化概論	180	調 理 理 論 I	30	30
		調 理 理 論 II	60	60
		調 理 理 論 III	30	30
		食 文 化 概 論	60	60
調理実習	300	調 理 実 習	300	300
総合調理 実習	90	大 量 調 理 実 習	60	60
		特 殊 調 理 実 習	15	15
		フードサービス実習	15	15
小 計			960	960
		合 計	960	960

別表5 パティシエ科(昼間) (1 年)

教科科目	必修選択の別	実施単位数	実施時間数
衛生法規	必修		30時間
公衆衛生学	必修		60時間
栄養学	必修		60時間
食品学	必修		60時間
食品衛生学	必修		120時間
製菓理論	必修		90時間
製菓実習	必修		480時間
社会	必修		30時間
パティスリーラッピング	選択		16時間
カフェクリエーター	選択		27時間
合 計			973時間

通信課程 パティシエ科(通信) (1 年)

教科科目	必修選択の別	レポート回数	スクーリング授業回数	面接指導時間
衛生法規	必修	1回	6回	6時間
公衆衛生学	必修	1回	18回	18時間
栄養学	必修	1回	12回	12時間
食品学	必修	1回	12回	12時間
食品衛生学	必修	2回	24回	24時間
製菓理論	必修	3回	36回	36時間
製菓実習	必修	10回	14回	84時間
社会	必修	1回	12回	12時間
合 計		20回	134回	204時間

スクーリング授業については、1回1時間とする
ただし、製菓実習については、1回6時間とする

別表6 柔道整復トレーナー学科(昼間) (3 年)

分野	教育内容	授業科目	15 時間 1 単位の 科目	規定 単位	授業 時間	単位数
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活	栄養学	○	2	30	14
		臨床心理学	○	2	30	
		経済学	○	2	30	
		保健体育	○	2	30	
		生物学	○	2	30	
		外国語(英語)	○	2	30	
		介護概論	○	2	30	
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖学Ⅰ		2	60	15
		解剖学Ⅱ		2	60	
		解剖学Ⅲ		1	30	
		生理学Ⅰ		2	60	
		生理学Ⅱ		2	60	
		生理学Ⅲ	○	2	30	
		運動学Ⅰ		2	60	
		運動学Ⅱ		2	60	
	疾病と障害	病理学概論		2	60	12
		衛生学		1	30	
		一般臨床医学Ⅰ	○	2	30	
		一般臨床医学Ⅱ	○	1	15	
		外科学概論Ⅰ		1	30	
		外科学概論Ⅱ		1	30	
		整形外科学		2	60	
		リハビリテーション医学		2	60	
	柔道整復術の適応	柔道整復術の適応	○	2	30	2
	保健医療福祉と 柔道整復の理念	公衆衛生学		1	30	9
		関係法規		2	60	
		柔道Ⅰ		2	60	
		柔道Ⅱ		2	60	
		柔道Ⅲ		2	60	
	社会保障制度	社会保障制度		1	15	1

専門分野	基礎柔道整復学	基礎柔道整復学Ⅰ		2	60	10
		基礎柔道整復学Ⅱ		2	60	
		基礎柔道整復学Ⅲ		2	60	
		基礎柔道整復学Ⅳ		2	60	
		基礎柔道整復学Ⅴ		2	60	
	臨床柔道整復学	臨床柔道整復学Ⅰ		2	60	18
		臨床柔道整復学Ⅱ		2	60	
		臨床柔道整復学Ⅲ		2	60	
		臨床柔道整復学Ⅳ		2	60	
		臨床柔道整復学Ⅴ		2	60	
		臨床柔道整復学Ⅵ		2	60	
		臨床柔道整復学Ⅶ		2	60	
		臨床柔道整復学Ⅷ		2	60	
		臨床柔道整復学Ⅸ	○	2	30	
	柔道整復実技	柔道整復実技Ⅰ		2	60	17
		柔道整復実技Ⅱ		2	60	
		柔道整復実技Ⅲ		2	60	
		柔道整復実技Ⅳ		2	60	
		柔道整復実技Ⅴ		2	60	
		柔道整復実技Ⅵ		2	60	
		柔道整復実技Ⅶ		2	60	
		柔道整復実技Ⅷ		2	60	
		柔道整復実技Ⅸ		1	30	
	臨床実習	臨床実習Ⅰ		2	90	4
		臨床実習Ⅱ		2	90	
選択必須科目	基礎医学特論	基礎医学特論		2	60	9
	総合演習	総合演習Ⅰ		1	30	
		総合演習Ⅱ		1	30	
		総合演習Ⅲ		1	30	
	トレーニング指導論	トレーニング指導論Ⅰ		2	60	
		トレーニング指導論Ⅱ		2	60	
基礎分野		①		14	210	
専門基礎分野		②		39	1050	
専門分野		③		49	1500	
選択必須科目		④		9	270	
合計		① +②+③+④		111	3030	

- 附記 1 この学則第 8 条別表は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。
- 附記 2 この学則第 8 条別表は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。
- 附記 3 この学則第 8 条別表は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。
- 附記 4 この学則第 8 条別表は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。
- 附記 5 この学則第 8 条別表は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。
- 附記 6 この学則第 8 条別表は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。
ただし、これ以前に入学者については、従前のものを適用する。
- 附記 7 この学則第 8 条別表は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。
- 附記 8 この学則第 8 条別表は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。
- 附記 9 この学則第 8 条別表は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。
- 附記 10 この学則第 8 条別表は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。